



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

<http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/> E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.181 2011.9.22

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

9・19集会 明治公園に6万人

さようなら原発



脱原発「政治が決断すべき」

19日、明治公園で開かれた「さようなら原発集会」。6万人が参加した会場に「原発はいらない！」の声が響きわたりました。ドイツから参加した環境団体のフーベルト・ワイガー氏は「脱原発はできるか、できないかではない。政治的にやるか、やらないかだ」と強調しました。



■参加者で埋めつくされた会場で。「原発なくて、みんなで生き延びよう」と訴えた俳優の山本太郎さんに、元気をもらいました。

■集会よびかけ人の大江健三郎さん、落合恵子さん、鎌田慧さん、内橋克人さんも、パレードの先頭で「原発なくせ」と訴えました。

不安広がる放射能汚染

北区が対策方針しめす

毎時0・25マイクロシーベルトを超える地点で除染

21日に開かれた北区議会防災対策特別委員会で、区施設の放射線対策の方針がしめされました。

区の説明によれば、

空間の放射線量が毎時0・25マイクロシーベルトを超える地点については使用を禁止し、除染を実施するとしています（**囲み参照**）。

今後は、継続して実施する区の空間放射線量の測定において、対策の目安以上の値が計測された場合は、今回定めた手順により対応

します。この対策につ

いては、北区のホーム

ページに掲載し、9

月末発行予定の北区

ニュース臨時号で区民

にお知らせします。

食品の安全

対策に万全を

同委員会では、日本共

産党北区議員団の山崎

たい子委員は、「空間

放射線による外部被ば

くとともに、食物によ

る内部被ばくにも対策

を講じるべき」とのべ、

この間、本会議でも区

の答弁でくりかえされ

た「市場に出回ってい

る食材は安全が確認さ

れている」という考

えを改めるよう要求、

「23区内でも食品のサンプル調査をおこなったり、食物の放射線測定器を購入を決めている自治体がある。国まかせにせず北区でもできる対策を総力をあげてとるべきでは」と追及しました。

区は「食品の測定器は精度の問題など課題もある。今後も国の動向を注視していく」などと答えました。

北区の放射線対策の目安と対応

放射線の影響が大きい子どもの安全・安心を考え、暫定的に空間放射線量0.25 μ Sv/hを目安とし、これ以上の数値が測定された区施設については対策を検討する。なお、対策をとる対象は原則として区の施設とし、主に子どもの利用する施設を最優先とする。

砂場など主に子どもの利用する施設で空間放射線量0.25 μ Sv/h以上が測定された場所は使用禁止とし、専門業者の測定で目安以上の数値が確認されたときは除染を実施する。



長寿を祝う子どもたち

桐ヶ丘やまぶき荘・桐ヶ丘児童館秋祭り

18日、桐ヶ丘やまぶき荘・桐ヶ丘児童館合同秋祭りが開かれました。特養ホームと児童館が隣接する画期的な施設も10年目。106歳のおばあちゃんにプレゼントを渡す子どもたちの微笑ましい姿が印象的でした。（のの山けん）